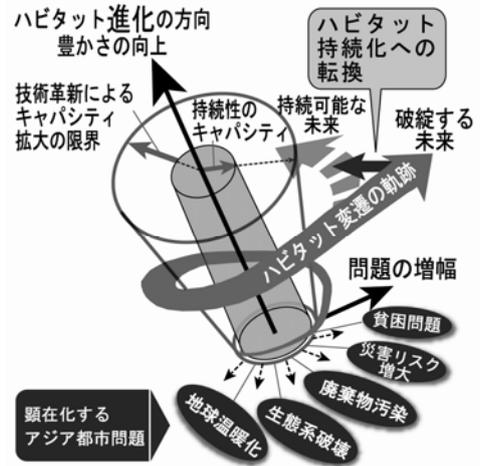


教育プログラムの概要及び採択理由

機 関 名	九州大学	申請分野(系)	理工農系
教育プログラムの名称	アジア都市問題を解くハビタット工学教育		
主たる研究科・専攻名	人間環境学府都市共生デザイン専攻		
(他の大学と共同申請する場合の大学名、研究科専攻名)			
取 組 実 施 担 当 者	(代表者) 出口 敦		

〔教育プログラムの概要〕

【背景】 各地域のライフスタイルや居住環境から居住に関わる社会基盤までを包含する概念の「ハビタット」の進化の方向性は、社会の豊かさのみならず、未来世代の地球環境にも多大な影響を及ぼす。ハビタットに関わるCO₂排出量は増加の一途をたどり、特に、成長著しいアジア各都市での人口増加等の社会動態に応じた低炭素社会の実現とハビタットの持続化は、都市・建築学や土木工学が直面する最大課題の一つである。しかしながら、その課題解決には、従来の工学的思考だけでは立ち行かず、居住の豊かさと環境負荷との関わりを解明する学際的アプローチが不可欠であり、本学の学際大学院人間環境学府が目指す工学技術と社会福祉の融合に向けた学際教育研究の実践を通じた専門家育成が求められる。



アジア都市問題を解くハビタット工学の役割

【目的】 本申請の2専攻では、21世紀COE「循環型住空間システムの構築」の教育研究成果を「持続都市建築システム」のコース(博士後期課程)とプログラム(修士課程)の新しい教育体系に結実させた(平成20年度)。本コースとプログラムは、社会的要請の高い都市・建築の持続化のテーマでいち早く専門コース化に取り組んだ教育課程である。本申請は、文理融合型学際大学院の特色を活かしつつ、この新課程をプラットフォームとし、国連ハビタット(国連人間居住計画)アジア太平洋事務所等の協力の下、アジアの都市問題や居住環境の改善に関わる実務の現場に学生を送り出し、現地調査・分析から問題解決策立案までの過程を専門家のアドバイスを受けながら学び、アジア都市社会と居住の実態の中でハビタットの持続化を実現する方法と技術を追究する博士・修士育成の「ハビタット工学」教育プログラムを実践するものである。更に、本プログラムの実践を通じて、アジア都市問題の専門家育成の教育方法と学位取得までの道筋を明確化することを目的とする。

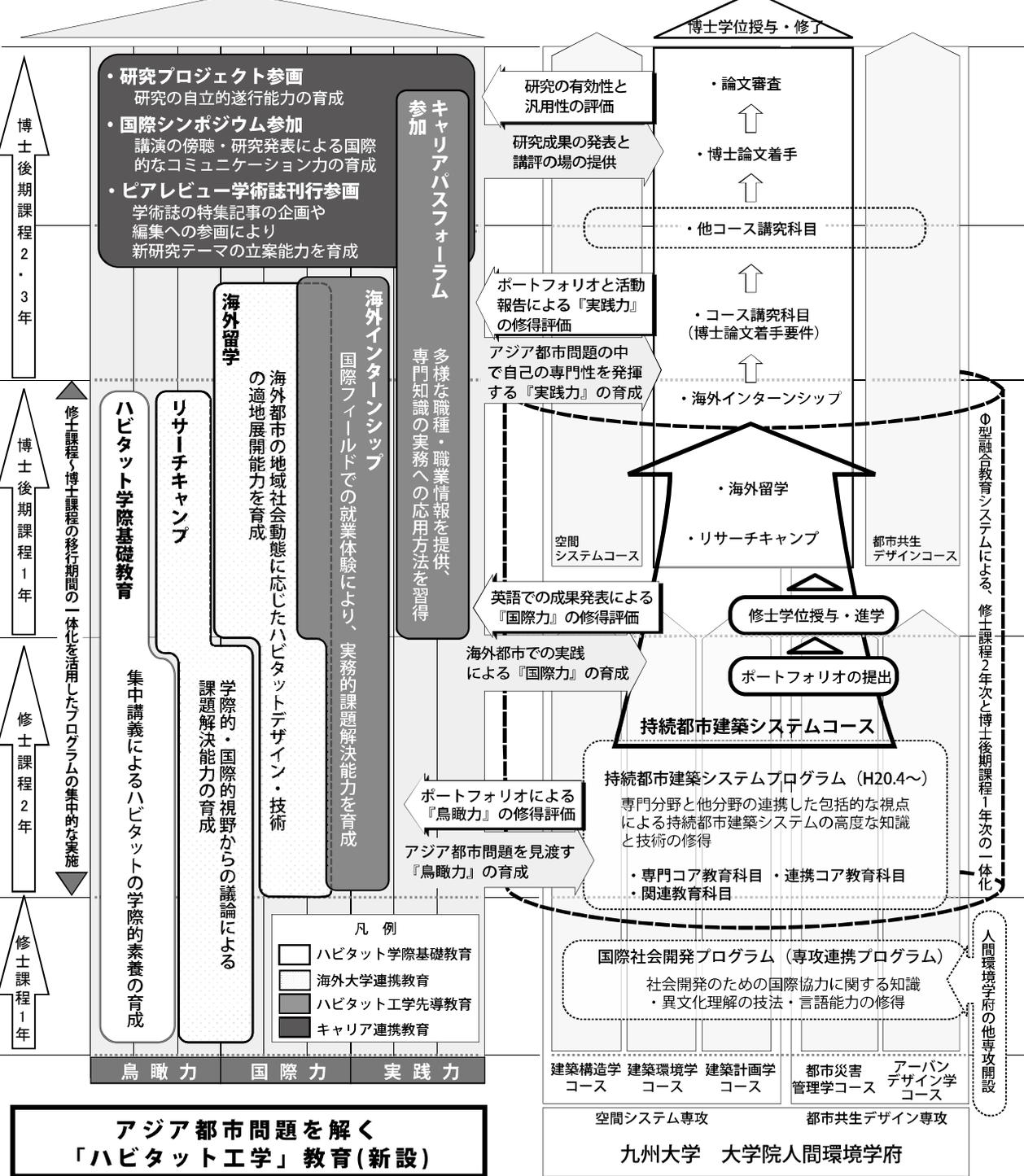
【教育プログラムの概要】 アジアの都市問題を解き、ハビタットの持続化を追究する専門家に必要な能力は、①アジア都市問題に関わる広い知識を修得し、他領域との関係性から専門領域を把握できる鳥瞰力、②国際的な場で活発にコミュニケーションを取りながら協働することができる国際力、③高い専門知識を基に各フィールドでの個別課題に対して実践的な解決方法を立案できる実践力、である。知的欲求と学術活動が旺盛な修士課程2年次と博士後期課程1年次の時期を一体的カリキュラムに捉えたΦ型融合教育の導入と共に、能力修得のステップと学位授与のプロセスの明確化を目指す以下の教育プログラムを実施する。

- ◆ハビタット学際基礎教育:複雑なアジアの都市問題に関する各分野での国内外の第一線で活躍する講師招聘による学際的内容の集中講義とケースメソッド型授業を実施し、授業での討論と自主研究の成果をまとめたポートフォリオにより「鳥瞰力」の修得を評価する。
- ◆海外大学連携教育:アジア海外大学との共同による海外留学(6ヵ月の駐在調査)の支援及びリサーチキャンプ(1~2週間)を実施し、英語による成果発表や討論の内容により、「国際力」の修得を評価する。
- ◆キャリア連携教育:国連ハビタット・アジア太平洋事務所との連携により、現地プロジェクトに参加する海外インターンシップ(3ヵ月単位)を実施。行政や産業界と共同で専門性を実務に応用するキャリアパスフォーラムを実施し、指導担当専門家の活動報告と学生のポートフォリオにより「実践力」の修得を評価する。
- ◆ハビタット工学先導教育:博士後期課程院生や国内外の研究者、院生の研究成果の投稿論文で構成するピアレビュー学術誌の編集と継続的刊行を行ない、「ハビタット工学」の学術ネットワークを構築する。また、国際シンポジウムを主催し、本プログラム参加学生の研究成果の発表と講評の場を設けることで、研究成果の有効性や汎用性についての専門家を交えた検証を通じた、学位論文着手に向けた多角的な研究成果の評価を行なう。

九州大学：アジア都市問題を解くハビタット工学教育

履修プロセスの概念図（履修指導及び研究指導のプロセスについて全体像と特徴がわかるように図示してください。）

2つのアプトプットの柱
「ハビタット工学」教育の明確化 + アジア都市問題を解く専門家輩出



アジア都市問題を解く「ハビタット工学」教育(新設)

頭在化するアジア都市問題解決への社会的要請

教育企画・運営体制

教育プログラム運営会議

- ・教育支援WG
- ・企画広報WG
- ・コンソーシアム連携WG
- ・点検評価WG
- ・運営管理WG

海外大学連携

- ・国際リサーチキャンプ実施
- ・海外留学実施
- ・海外インターンシップの実施
- ・海外研究プロジェクトの支援

キャリア連携

- ・海外インターンシップ実施
- ・キャリアパスフォーラム実施
- ・産学交流の場の提供
- ・社会人博士シーズの発掘

国際機関

- ・国連ハビタット (国連人間居住計画アジア太平洋事務所)

学外組織

- ・国内外の関連企業
- ・都市プランナー、建築家
- ・民間の研究所、等

アジアの連携大学

- ソウル大学・延世大学
- 清華大学・北京大学
- 同済大学・上海交通大学
- ガジラロン大学
- マレーシア工科大学
- ガジヤマダ大学
- インドネシア大学

協力

<採択理由>

大学院教育の実質化の面では、明確な人材養成目的の下、修了後の進路の専門職能分類等に応じてコース編成を行うなど、綿密な教育システムを構築している点は評価できる。またホームページコンテンツの作成を担当する技術職員の配置や雑誌の発行を計画するなど、情報提供のための具体的な準備が整っていると判断できる。

教育プログラムについては、「アジアの都市問題を解き、ハビタットの持続化を追求する専門家」という人材養成の目標は、大学の地域性に合致したものであり、またわが国の建築、土木、都市計画諸分野から期待される事項である。ただし、日本の優れた環境技術、建設・管理技術を各地で適地活用する能力の教育方法については、計画実施の過程において、より一層の具体化が必要である。